

「いちどとまって、みぎひだり」

交通安全教室 5/30~6/23

町内の各保育園とつつみ第二幼稚園（坂崎）で交通安全教室を開催しました。園児たちは室内で交通安全に関する紙芝居や講話を聞いた後、模擬信号機を使って横断歩道を渡る際の注意点などを学びました。交通指導員や岡崎警察署の署員から、信号の色確認や左右の安全確認などについて教えてもらい、仲良く手をつないで横断歩道を渡りました。



▲左右確認をしっかりと！（つつみ第二幼稚園）



▲横断歩道は手を挙げて渡りましょう（大草保育園）

好奇心を大切に、子どもの創造力を育てよう

ソニー幼児教育支援プログラム保育実践提案研究会 in 豊坂保育園

6/10

公益財団法人ソニー教育財団が実施した2016年度教育助成プログラムに、豊坂保育園の保育実践論文「毛ってふわふわ」が入選し、優秀園審査委員特別賞を受賞しました。このプログラムは「科学する心」を育てるための保育実践と考察をまとめた論文を対象とし、2016年度は全国の幼稚園・保育所・認定こども園から109件の応募がありました。2015年度には大草保育園が入選しており、2年連続で町内の保育園が入選という素晴らしい結果となりました。自然や生き物との触れ合いから芽生えた子どもの好奇心を生かし、創造力を伸ばす保育が評価されました。

そして、保育関係者を対象に豊坂保育園の公開保育などを行う保育実践提案研究会を開催しました。午前中に園内で公開保育を行い、午後からは豊坂小学校の体育館に会場を移して受賞論文の発表を行いました。その後、株式会社日立製作所名誉フェローの小泉英明氏に「脳科学と幼児期の体験」の演題で記念講演を行っていただきました。講演後のグループ協議では、参加した保育関係者同士が情報交換を行いました。



①



②



③



④

- ①豊坂保育園の公開保育 ②カイコの繭まゆで遊ぶ園児たち
③株式会社日立製作所名誉フェロー小泉英明氏 ④保育関係者によるグループ協議

まちがと

身近な情報を広報へ

震度7を体験しました

起震車（なまず号）体験

6/5～9

町内の小中学校で起震車（なまず号）体験が行われました。参加した児童・生徒は、東日本大震災の揺れや震度7の揺れを体験し、地震が発生した時にはまず頭を守るなどの初期行動を学びました。荻谷小学校では、児童がダンゴムシのポーズでしっかりと頭を守る姿勢を取っていました。地震に備えてできることを今からしていきましょう。



▲起震車（なまず号）



▲強い揺れに驚きました

熱い、熱いドッジ！

西三河球技大会幸田予選会

6/11

デンソー幸田製作所体育館で西三河地域子ども会球技大会（以下、西三ドッジ）の幸田町予選大会が開催されました。女子の部は9チームの参加があり予選は5チームと4チームに分かれて総当たりのリーグ戦を行い、上位2チームで決勝トーナメントを行いました。男子の部は3チームの参加があり総当たりのリーグ戦を行いました。

結果は、女子の部優勝が岩堀子ども会、男子の部優勝が深溝学区子ども会でした。優勝した2チームと昨年西三ドッジ本大会女子の部で優勝した市場ジャイアント子ども会は、9月2日に西尾市総合体育館で開催される西三ドッジに幸田町代表として出場します。



▲女子の部優勝 岩堀子ども会



▲男子の部優勝 深溝学区子ども会



▲昨年西三ドッジ女子の部優勝の市場ジャイアント子ども会



▲大会の一場面

フォトニュース

広報直通ダイヤル(63) 5132
FAX(63) 5139
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp

島原の美味しいもの、もりだくさん！

島原市特産物即売会

6/11

道の駅筆柿の里・幸田で、幸田町の友好交流市である長崎県島原市の特産物即売会が開催されました。この日のために島原市から2人の職員が来町し、島原の魅力をPRしました。販売がスタートするとたくさんのお客さんで賑わい、開始から約2時間半で完売しました。一番の目玉商品であるマダーボールという小玉スイカは、シャキッとした食感と爽やかな甘さが魅力です。ほかにもスイートコーンや長崎カステラ、黒ゴマそうめんなどが売られていました。



▲即売会は大盛況でした！



▲島原の特産物に興味津々

今年も、素敵なバラが届きました

表敬訪問 父の日にバラをプレゼント

6/13

「父の日のバラ」が須美区在住のバラ栽培農家、朝岡^{あさおか}浅次郎^{あさしろう}さんから町長に寄贈されました。寄贈にあたり朝岡さんは、「父への感謝の気持ちを忘れないために、幸田町の父である町長に毎年寄贈しています」と話されました。町長は、「いつもありがとうございます」と朝岡さんに感謝の言葉を伝えました。いただいたバラは役場1階ロビーなどに飾らせていただきました。毎年寄贈してくださる朝岡さんのバラ作りに対する情熱を感じます。



▲町長にバラを渡す朝岡さん

福祉とは何か、考えよう

福祉実践教室in幸田中学校

6/15

幸田中学校で福祉実践教室が行われました。車いす体験学習では、車いすでの障害物の避け方を学びました。視覚障がい体験では、2人1組になり、目隠しをした人がもう1人のサポートを受けて校内を歩きました。講師自身の障がいによる経験に基づいて教えていただき、生徒たちはこれをきっかけに福祉とは何かを考えることができたようです。



▲車いすで段差を乗り越えます



▲障害物がたくさんあり大変そうでした

まちがと
かざり

身近な情報を広報へ

夏だ！プール、行こう！ 町民プール 屋外施設オープン 6/24

町民プールの屋外施設がオープンしました。オープンイベントとして、シンクローの演技が披露されました。また、毎年大人気のウォータースライダーにはたくさんのお客さんが列を作っていました。屋外オープン初日は雨になることが多いそうですが、今年は晴れて良かったとスタッフも話していました。今年の夏も魅力がいっぱいの町民プールにぜひご来場ください。



▲オープンイベントのシンクロー



▲大人気！ウォータースライダー

作り手による創意工夫の成果 夏秋なす部会鉢植え品評会 6/29

J A あいち三河幸田営農センターで、平成29年度幸田町夏秋なす部会鉢植え品評会が行われました。各賞の受賞者は以下のとおりです。(敬称略)

幸田町園芸振興会長賞	いなよし とみお 稲吉 富雄	セントライ青果(株)社長賞	おおや ふみこ 大屋 二美子
あいち経済連合会長賞	すぎうら よしあき 杉浦 嘉明	(株)衣浦総合卸売市場社長賞	やまもと さだお 山本 貞雄
あいち三河農業協同組合長賞	あさい ひろし 浅井 裕司	幸田町夏秋なす部会長賞	たにかわ しげかず 谷川 繁和



▲左から、稲吉さん、杉浦さん、浅井さん、大屋さん、山本さん、谷川さん ▲立派に育った鉢植えのナス

幸田の三河万歳、ここにあり！ 表敬訪問 三河万歳 7/4

愛知県民芸能大会で国の重要無形民俗文化財に指定されている幸田の三河万歳を披露することが決まり、出演者5人を代表して2人が町長室へ表敬訪問しました。訪れたのは幸



▲中央2人が出演者
(左から上野さん 嶋井さん)

田町三河万歳保存会の上野好誼さん、嶋井幹夫さんです。県芸能大会に出演するのは、平成12年度以来とのことです。三河万歳は三河地方に伝わる伝統芸能で、1人の太夫と複数の才蔵による息の合った掛け合いが見所です。西尾や安城にも三河万歳は存在しますが、幸田の三河万歳はゆったりと優雅なのが特徴です。出演者らは、先輩たちから受け継いできたものを守っていきたくと意気込みを語っていました。

フォトニュース

広報直通ダイヤル(63) 5132
 FAX(63) 5139
 E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp